

**第53回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会青森県予選会
兼 第68回青森県高等学校定時制通信制総合体育大会陸上競技大会
実 施 要 項**

<主 催> 青森県高等学校体育連盟・青森陸上競技協会
<主 管> 青森県高体連陸上競技専門部

- 1 期 日 平成30年6月3日(日) ・ 開会式 9時00分
- 2 会 場 青森県総合運動公園陸上競技場
- 3 種 目 [男子] 15種目
100・200・400・800・1500・5000・400H・3000SC
4×100R・4×400R・走高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投
- [女子] 11種目
100・200・400・800・3000・100H
4×100R・走高跳・走幅跳・砲丸投・円盤投
- 4 競技規定 平成30年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項による。
- 5 競技方法 (1) 学校対校とする。
(2) 男子及び女子別の合計得点によって学校の順位を決定する。
(3) 各種目の得点は1位6点以下、5・4・3・2・1点とする。
- 6 参加資格 (1) 学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍し、青森県高等学校体育連盟に加盟している生徒であること。
(2) 青森陸上競技協会の平成30年度登録競技者であること。
(3) 当該年度の全国高等学校総合体育大会・東北高等学校新人選手権大会(各都府県予選大会・各競技団体が定める高校生以上を対象とした全国大会も含む)出場者及び出場校は、除く。
(4) 年齢制限なし。但し、同一学年の出場は1回限りとする。
(5) チームの構成において全日制・定時制・通信制の課程の生徒による混合チームは認めない。
(6) 転校後6カ月未満の者は認めない。但し、一家転住等やむを得ない場合は、青森県高体連陸上競技部部長の許可があればこの限りではない。
- 7 参加申込 (1) 添付した申込ファイルをパソコンに保存し、『定総体申込操作説明書2018』を熟読の上、下記アドレスへ申込書を添付ファイルにて送信すること。
(申込ファイルは青森陸上競技協会HP <http://www.jomon.ne.jp/~arikkyo/>からもダウンロードできます)
【申込専用メールアドレス】 teitsuu2018@mutsu-rk.jp
(2) 申込に関する問い合わせ先
北斗高校定時制 前田 祐生 TEL 017-734-4464 FAX 017-774-1047
メールアドレス maeda-yuki@r01.asn.ed.jp
(3) 締め切り 5月11日(金) 12:00必着
● 申し込み後の変更は一切受けません。
● 申し込みが遅れた学校は出場しないものとする。
● ナンバーカードは、参加料・登録料の振込確認後、青森陸上競技協会事務局より送付します。

- 8 参加制限 (1) 1種目 1校3名以内とする。
(2) 1人 2種目以内(リレーは除く)とする。
- 9 参加料 1種目 800円・リレー1種目 1000円・学校負担金 2000円
5月11日(金)まで下記に参加料・学校負担金を同時に振り込んでください。
●振込みの際には学校名定(または通)として下さい。
例) 青森工業高校の場合、青森県立を省略して、アオコウギョウテイ等のようにお願いします。

銀行名	青森銀行	木造支店
口座番号	3048611	
名義	青森県高等学校体育連盟	
	陸上競技専門部	代表 野呂 透

- 10 登録料 登録料 1人1500円
5月14日(月)まで下記に振り込んでください。
●参加料等の振込み先とは異なります。注意して下さい。

銀行名	青森銀行	広田支店
科目	普通	
口座番号	1082922	
名義	安田 信昭	(ヤスタ ノブアキ)

- 11 表彰 (1) 学校対校は、男子・女子総合優勝校にそれぞれ優勝旗を授与し、第3位までの学校を表彰する。
(2) 個人は種目別第6位までの者を表彰する。尚、表彰を受ける競技者は(服装を整え)、競技用ユニフォームで受賞すること。
(3) 本大会で3位まで入賞した者は、全国大会の参加資格が得られるものとする(リレーは県選抜チームとし、監督会議で決定)。
3位までの入賞者で、全国大会を辞退する人が出た場合は、繰上げ出場(決勝進出6位以内の中から選考)をさせる。
全国大会の出場については、事前に校長の了承を得ること。

全国高等学校定時制通信制陸上競技大会
8月9日(木)～12日(日)
東京都 駒沢オリンピック公園総合運動場 陸上競技場

- 12 監督会議 青森県総合運動公園陸上競技場
6月3日(日) 開会式終了後

- 13 連絡事項 (1) 競技中の疾病、傷病などの応急処置は主催者側において行うが、その後の責任は負わない。参加者は健康保険証を持参すること。
(2) 引率責任者は生徒のすべての行動に対して、責任を負うものとする。
(3) 競技場は全天候型舗装であり、スパイクのピンの長さは9mm以下とする。
(4) 競技用具は競技場に備え付けのものに限る。
(5) プログラムは参加数により各学校に配布する。その他は実費販売する。
(6) 学校負担金2,000円を参加料と同時に納入すること。
(7) トラック種目のスタートの合図は英語で行う。また、不正スタートをした競技者は、一回目から失格となる。
(8) ハードル種目(男子400mH・男子3000mSC・女子100mH)の出場は、生徒身体の安全と、円滑な競技運営上、経験者とする。